

第28回 全国園芸鉢物研究岐阜大会 大会記録誌



世界農業遺産「清流長良川の鮎」



期日／平成29年10月6日(金)～7日(土)

場所／岐阜グランドホテル(岐阜市長良河畔)

主催 第28回全国園芸鉢物研究岐阜大会実行委員会
一般社団法人 日本花き生産協会鉢物部会



御礼のことば

第28回全国園芸鉢物研究岐阜大会実行委員会
((一社)日本花き生産協会副会長・鉢物部会長)
会 長 加 藤 孝 義



暮秋の候、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび岐阜県において「第28回全国園芸鉢物研究岐阜大会」にご多忙にもかかわらず、全国各地、幅広い花き業界の同志の皆様をお迎えし、開催できましたことに心より感謝と御礼を申し上げます。

大変厳しい花き業界にあって、元気を与えられ、未来の花き業界の発展が描ける大会とするため、岐阜県ならではの前代未聞の企画として“特設リング”を設営し、リング内での「トークバトル」を開催しました。

このトークバトルの主役を担って頂いた各業界の社長をはじめ、佐分利様、日向様、さらに、20名を超える各業界の勇者の皆様による“本音のバトル”が本大会の最大の功労とっております。重ね重ね御礼を申し上げます。

今回の岐阜大会が、今後の花き業界の発展に一石を投じる切っ掛けとなり、情報の共有と行動を興すことが「花き業界をV字回復」に繋がれば幸甚に存じます。

最後になりますが、本大会開催にあたりご支援・ご協力を賜りました、岐阜県及び関係団体に加えご協賛頂いた企業等各種団体の皆様に感謝を申し上げます御礼の言葉とさせていただきます。



第28回全国園芸鉢物研究岐阜大会開催要領

=キーワード: “バトル” =

1. 趣旨

全国の園芸鉢物等生産者並びに生産から流通・販売に関わる関係者が一堂に会し、国内の花き産業を巡る情勢を土台として明るい未来を描く大会と位置付け、加えて会員相互の連帯と交流を深め、我が国の園芸鉢物振興に資する。

2. 大会テーマ

「花き業界衰退の危機！！どうする³

“決戦(バトル)の地”岐阜で“ズバリ”解決！！」

3. 主催

第28回全国園芸鉢物岐阜大会実行委員会

(一社)日本花き生産協会鉢物部会

4. 共催

(一社)日本花き生産協会鉢物部会青年部

5. 後援

農林水産省、東海地域花き普及・振興協議会、(公社)日本フラワーデザイナー協会、(一社)日本ハングインバスケット協会、(一社)寄せ植え華道協会、(株)岐阜新聞社、(株)中日新聞社、(株)日本農業新聞、(株)花卉園芸新聞、(株)グリーン情報、(一社)岐阜県農畜産公社、(一社)岐阜県農業会議、岐阜県農業協同組合中央会、岐阜県信用農業協同組合連合会、岐阜県厚生農業協同組合連合会、岐阜県共済農業協同組合連合会岐阜県本部、(公財)岐阜観光コンベンション協会

6. 開催期日及び会場

・開催期日:平成29年10月6日(金)～10月7日(土)

・場所:【研究大会・交流会】岐阜グランドホテル(岐阜市長良648 TEL:058-233-1111)

【産地視察等】岐阜市、本巣市、花フェスタ記念公園(可児市瀬田1584-1)

7. 開催内容

【第1日目】岐阜グランドホテル(ロイヤルシアター(B1))

○式典(主催者・歓迎あいさつ・来賓祝辞等)

○功績者表彰(鉢物部会記念賞・高島屋植物園記念賞)

○トークバトル

【バトルテーマ】「花き業界をV字回復させるシナリオは？」

*レフリー(コーディネーター)

佐分利応貴氏((公財)笹川平和財団安全保障事業グループグループ長)

*バトラー(パネラー)

〔生産〕山本 勝氏 東海園芸(株)代表取締役社長(静岡県)

加藤孝義氏 (株)岐孝園代表取締役社長(岐阜県)

〔流通〕藤澤俊三氏 (株)フラワーオークションジャパン代表取締役社長(東京都)

福永哲也氏 豊明花き(株)代表取締役社長(愛知県)

〔販売〕徳本修一氏 (株)総合園芸代表取締役社長(石川県)

尾崎明弘氏 (株)オザキフラワーパーク代表取締役社長(東京都)

○交流会 岐阜グランドホテル(ロイヤルホール(2F))

【第2日目】

○産地視察

Aコース フローラナナミ(岐阜市)・(有)サンコフ(本巣市)

Bコース (有)フローラシマベ(岐阜市)・(農)ロイヤルグリーン(本巣市)

○ぎふフラワーフェスティバル2017

花フェスタ記念公園(岐阜県可児市瀬田1584-1)

〈主な催事計画〉

・花いけバトルin花フェスタ・品評会、体験教室、フラワーディスプレイ等

大会日程・内容

【第1日目】

期日：平成29年10月6日（金） 於：岐阜グランドホテル

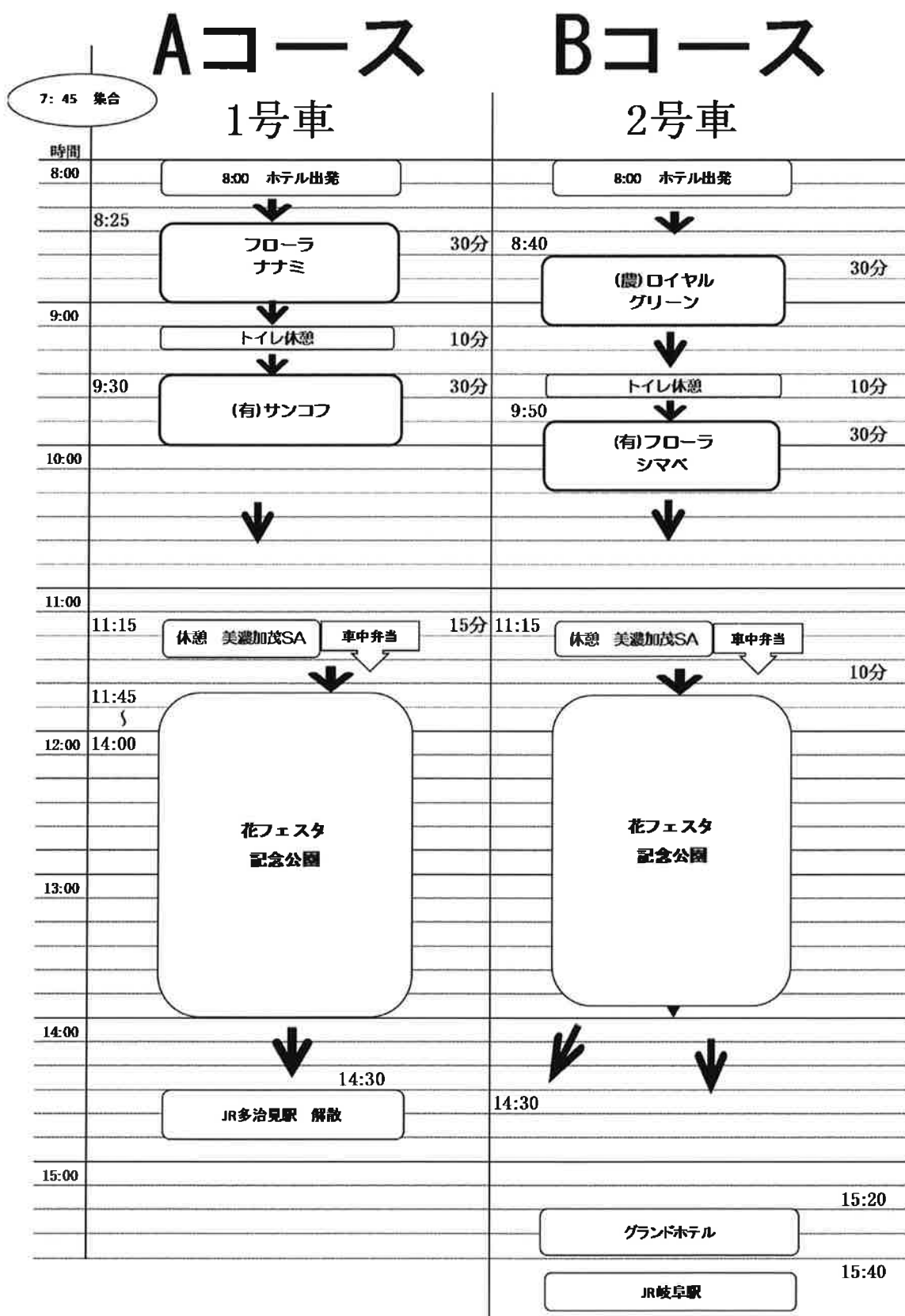
総合司会：透 千保（フリーアナウンサー）

時 間	区 分	内 容
12:30～13:30	受付	ロイヤルシアター（B1）
【開会】		
13:30～13:35	国旗・県旗入場	国旗・県旗入場後、「花き振興法第一条」朗読
13:35～14:00	開会のことば	実行委員会副会長
	主催者あいさつ	実行委員会会長（（一社）日本花き生産協会鉢物部会長）
	歓 迎あいさつ	岐阜県代表
	来賓祝辞	農林水産省生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室長 （一社）日本花き生産協会会長
【功績者表彰】		
14:00～14:30	功績者表彰	鉢物部会記念賞及び高島屋植物園記念賞 鉢物部会記念賞
14:30～14:45	休 憩	
【研究大会】		
14:45～17:05 （2時間10分）	トークバトル トークバトル	バトルテーマ 「花き業界をV字回復させるシナリオは？」 レフリー（コーディネーター）： 佐分利 応貴 氏 （公益財団法人 笹川平和財団 安全保障事業グループグループ長） バトラー（パネラー）： 生産 山本 勝氏 （東海園芸（株）） 加藤孝義氏 （（株）岐孝園） 流通 藤澤俊三氏 （（株）フラワーオークションジャパン） 福永哲也氏 （豊明花き（株）） 販売 徳本修一氏 （（株）総合園芸） 尾崎明弘氏 （（株）オサキフラワーパーク）
16:55～17:05 （10分）	メッセージ	トークバトルまとめ
17:05～17:10	閉会のことば	実行委員会副会長
17:10～18:00	休 憩	
【交流会】		
18:00～18:15	歓迎アトラクション	ロイヤルホール（2F） 演舞：「富有樂狸（ふゆうらくしょう）」
18:15～18:30	主催者あいさつ	
	歓 迎あいさつ	
	来賓祝辞	
18:30～20:30	交 流 会	

第 2 日 目

期日：平成29年10月7日(土)

【産地視察】



第28回全国園芸鉢物研究岐阜大会参加一覧

		参加人数	大会	交流会	宿泊	視 察	
						Aコース	Bコース
都道府県名	茨城県	6	6	6	3	3	0
	栃木県	1	1	1	1	0	1
	群馬県	4	4	4	0	1	0
	埼玉県	9	9	7	7	2	4
	千葉県	2	2	2	2	0	0
	東京都	1	1	1	1	0	1
	神奈川県	7	7	0	0	0	0
	山梨県	2	2	0	0	0	0
	長野県	1	1	1	1	0	1
	静岡県	8	8	8	8	8	0
	富山県	5	5	5	5	0	5
	愛知県	36	36	20	9	2	7
	兵庫県	4	4	2	2	0	0
	長崎県	1	1	1	1	1	0
	熊本県	1	1	1	1	0	1
小計 県外参加者		88	88	59	41	17	20
関係業界	市場	27	27	20	13	6	1
	取引企業	44	36	34	4	2	0
	小売店	11	11	7	5	0	2
	報道	2	2	1	0	0	0
小計 関係業界		84	76	62	22	8	3
岐阜県生産者		45	45	16	2	0	0
花き協会役員		17	13	13	10	0	0
小計		234	222	150	75	25	23

来賓	来賓	10	10	5	0	2	0
	レフリー・パトラー	7	7	7	7	1	1
	国・岐阜県	4	4	3	0	0	0
	岐阜県関係	10	10	4	0	0	0
	戦略会議	1	1	0	0	0	0
	就農応援隊	1	1	0	0	0	0
	実行委員会	13	13	11	1	0	0
	事務局	3	3	1	0	0	0
	スタッフ	45	32	2	2	0	0
	その他(県)	18	18	0	0	0	0
	小計	112	99	33	10	3	1
	合計	346	321	183	85	28	24

研究大会 式典

受付

- ・来賓・主催者
- ・市場関係・企業関係
- ・関東、静岡、富山
- ・九州、近畿、愛知
- ・岐阜県
- ・総合受付



アカデミー学生制作のコサージュ

国旗・県旗入場、花き振興法朗読



小栗常務、水谷理事



戸崎専務

開会のことば



- ・実行委員会副会長
土屋 智裕(県農産園芸課長)



総合司会 透 千保さん

主催者あいさつ

第28回 全国園芸鉢物研究岐阜大会



《実行委員》

- ・会 長 加藤孝義 (県振興会花き部会長)
- ・副会長 土屋智裕 (県農産園芸課長)
- 後藤孝彦 (JA全農岐阜園芸部長)
- ・委 員 深谷勝之 (県農業経営課長)
- 長谷川雅也 (県農技センター所長)
- 上田善弘 (県国際園芸アカデミー学長)
- 安田直浩 (岐阜市農林部長)
- 市橋滋利 (県振興会花き部会)

- ・実行委員会会長 加藤孝義
(日本花き生産協会副会長・鉢物部会長)



歓迎あいさつ

- ・岐阜県知事 代読
川尻 達也 氏 (県農政部次長)



来賓祝辞



- ・(一社)日本花き生産協会
久家 源一 氏 (会長)

《来賓》 = 登壇者のみ =

- ・久家源一 氏 (一社)日本花き生産協会会長
- ・川尻達也 氏 岐阜県農政部次長
- ・足立能夫 氏 岐阜県園芸特産振興会会長
全農岐阜県本部会長
- ・櫻井 宏 氏 岐阜県中央会会長
岐阜県信連会長
- ・堀尾茂之 氏 岐阜県厚生連会長
- ・桑田博之 氏 全農岐阜県本部本部長
- ・大野直樹 氏 全国共済連岐阜県本部本部長
- ・藤澤俊三 氏 日本市場協会鉢物部会長
- ・前田 悟 氏 屋内緑化推進協議会会長
- ・今城康夫 氏 (一社)日本インドアグリーン協会会長
- ・中道宏和 氏 (株)高島屋植物園

祝電披露

- 野田聖子 総務大臣・前衆議院議員
- 武藤容治 経済産業副大臣・前衆議院議員
- 渡辺猛之 参議院議員
- 大野泰正 参議院議員
- 村下貴夫 岐阜県議会議長



総務大臣兼女性活躍推進大臣
前衆議院議員
野田聖子

第二十八回全国園芸鉢物研究
岐阜大会のご開催を心よりお慶び
申し上げます。大会のご開催に
ご尽力頂きました関係各位に
敬意を表し、今後花き業界の
ますますのご発展と皆様のご
健勝を祈念申し上げます。

功績者表彰

《鉢物部会記念賞及び

高島屋植物園記念賞》

《鉢物記念賞》

群馬県	登坂 初夫 氏
茨城県	荒井 芳夫 氏
神奈川県	松田 義雄 氏
静岡県	鈴木 宗雄 氏
静岡県	田中 利彦 氏
岐阜県	佐竹 静 氏
愛知県	大蔵 拓実 氏



研究大会『トークバトル』

キャスト

レフリー

佐分利応貴 氏

(公財)笹川平和財団 安全保障事業グループ・グループ長

バトラー

山本 勝 氏

東海園芸株式会社 代表取締役社長

加藤 孝義 氏

株式会社岐孝園 代表取締役社長

藤澤 俊三 氏

株式会社フラワーオークションジャパン 代表取締役社長

福永 哲也 氏

豊明花き株式会社 代表取締役社長

徳本 修一 氏

株式会社総合園芸 代表取締役社長

尾崎 明弘 氏

株式会社オザキフラワーパーク 代表取締役社長

日向雄一郎 氏

(一社)花いけジャパンプロジェクト 代表理事



準備中

本物



準備完了

リングアナ

応援団

【生産】

登坂初夫 氏(群馬県鉢物研究会)

戸崎 明 氏(岐阜花き流通センター専務理事)

清住 昇 氏(熊本県花き園芸農業協同組合)

吉田 誠 氏(埼玉県花き園芸組合連合会)

【流通】

清野 仁 氏(北海道植物(株))

荻野 明 氏(西日本花き(株))

柏村哲徳 氏(日本植物運輸(株))

【販売】

三国哲弘 氏(フラワーショップ開花園)

谷奥俊男 氏((株)COTOHA)

平田雅典 氏((株)平田ナーセリー)

木村善広 氏((株)木村植物園)



バトルテーマ

『花き業界をV字回復させるシナリオは？ ＝需要創造＝』

ラウンドテーマ

- ①価格 (なぜ市場で二束三文になるのか)
- ②ものづくり (どんな商品を作ればいいのか)
- ③流通 (ネット時代にどう対応したらいいのか)
- ④販売促進 (ネット時代にどう対応したらいいのか)
- ⑤花のある生活を広げるためには
(業界一丸となって何をすればいいのか)



ラウンドルール

- ①バトラーのトーク時間は、1回につき1分
- ②1分でゴングが鳴る
- ③テーマごとのトークバトル時間は15分以内
- ④敬語での発言は禁止(相手を気遣う発言禁止)
- ⑤自分(業界)の都合の良い言い分を主張
- ⑥常に動きながらトーク
- ⑦色々なバトル(発言)があっても、最後はノーサイド
- ⑧バトラーは、応援団や会場からの飛び入り参加をさせ、トークさせることができる



『トークバトル』開演

入場セレモニー

- ・業界ごとに応援団を引き連れて、幟を掲げて入場
- ・バトラーは、マントを纏い、BGMで入場
(ロッキーのテーマなど)
- ・リングアナによるバトラーの紹介アナウンスで入場(次頁)



バトラー入場紹介コメント

東海園芸(株) 山本 勝	・生産者の仲間からは、異端児と呼ばれている。 ・ホームセンターなど市場外流通をメインに自ら販路を開拓し、業績を伸ばす。 ・静岡県に限らず全国でもトップクラスの経営者 ・心底の“生産者”で、地道な努力の結果が現在の安定経営を実現 ・歯に衣着せぬ言葉で、花き業界も一目を置いている。
(株)岐孝園 加藤 孝義	・サボテンに魅せられて50数年、今でもその魅力に取り憑かれている。 ・国内でもいち早く物流センター構想を提案・実現させ、飛躍的な生産量の伸びを牽引 ・発想力豊かでアイデアマン、Facebook等SNSにも明るくお友達も全国・世界に5000人を超えている。最近はインスタも ・市場流通をメインとした一方で、SNSによる情報発信で新たな若者の購買層を開拓するなどこれからの消費トレンドをリード ・岐孝園は、右肩上がりの経営を実現
(株)FAJ 藤澤 俊三	・皆様もご存じ、関東最大の鉢物市場で、全国の鉢物市場をリードするFAJ社長 ・政治力は随一で、全国の市場社長が一目を置く実力者 ・生産者からも厚い信頼を寄せられている。
豊明花き(株) 福永 哲也	・日本の真ん中愛知県にあり、日本一の鉢物市場で、海外への輸出窓口として、国の全面的なバックアップを受けている。 ・市場での取引も予約、相対が8割近くを占めるなど、日本最大でありながら、取引形態の最前線をリードする。 ・今後10年、20年と業界をリードすると期待されている。
(株)総合園芸 徳本 修一	・欧米のStatusの高いガーデンセンターに追い付き、追い越せと全国の園芸専門店、ガーデンセンターに呼びかけ、インターナショナルガーデンセンターアソシエーション(AGCA)世界大会を日本に呼び込む。 ・自らも北陸で大型ガーデンセンター展開とエクステリアを積極的に取り入れた庭造りで、北陸の庭文化を牽引する。
(株)オザキフラワーパーク 尾崎 明弘	・東京23区内最大のガーデンセンターで、植物へのこだわりが強く、全国の産地を飛び回る。 ・全国有数、都内随一の品揃えの素晴らしさから、テレビ取材も度々。 ・海外への会議や視察に頻繁に出向き、視野が広く、人望の厚い若手リーダー



バトラー等紹介コメント

リングアナウンサー
による紹介

- | | |
|-------------------------|-------|
| ○『業界の異端児と呼ばれる経営者』 | 山本 勝 |
| ○『サボテン王国のサボテン村村長』 | 加藤孝義 |
| ○『全国の鉢物市場をリードする社長』 | 藤澤俊三 |
| ○『新たな市場スタイルを提案する社長』 | 福永哲也 |
| ○『欧米のステイタスの実現を目指す経営者』 | 徳本修一 |
| ○『東京23区内最大のガーデンセンター経営者』 | 尾崎明弘 |
| ○『公益財団法人安全保障事業グループ長』 | 佐分利応貴 |

国歌斉唱



国内花きの現状



○花きの生産量の伸び悩み

- ・産出額・作付面積・農家数

○中央卸売市場機能

- ・市場経由率の低下
- ・セリの割合の減少
- ・卸売市場数の減少

○花き消費の伸び悩み

- ・年間購入額
- ・若年層の購入金額低い

左の写真は、一人当たりの年間花きの消費額の都道府県首都の順位
1位は鹿児島市、岐阜市は18位

レフリーの佐分利
さんから説明

ラウンド開始

ラウンドガール

- ・リングアナがバトルテーマをコール
- ・ラウンドガール3名が「ロッキーのテーマ」のBGMでラウンド回数を持ったパネルを掲げ、リング上・リング下を周り、ラウンド回数・テーマを知らせる。
- ・ラウンドガール退場後、ゴングを鳴らしトークバトル開始



《協賛企業》

- ・株式会社エノモト農材
- ・揖斐川工業株式会社
- ・株式会社マルキ化成工業所

ゴングを鳴らしバトル開始



- ・ゴングの合図でバトル開始
- ・レフリーが最初の発言者を指名
- ・発言者は、どの業界に対する発言なのかを行動で示し、テーマに対する言い分を主張
- ・言われた業界は、対抗発言を行いバトルする



吠える!?

本音の発言
に苦笑?



テーマ: 価格

《発言要旨》

- ・予対の価格が、セリで二束三文。セリ下げが問題(生)
- ・市場は、多様な販売取引を行っている(市)
- ・商品の価値に価格がつく、価格はセリでない(小)
- ・相対価格は、セリ価格の相場(生)
- ・生産・市場・小売とも儲かっていない。生産に元気が出ないと小売も元気がでない。(小)
- ・売る力があるが、物の情報が入って来ない。(小)
- ・小売の欲しい物は、例えば「中華」「イタリアン」など何かを言わないと生産に伝えられない(市)
- ・生産も情報発信するが、小売の情報も欲しい(生)
- ・小売の何が売れるのか分からない。トライして売れたものは相対で買う(小)

(生): 生産、(市): 市場、(小): 小売

テーマ: ものづくり

《発言要旨》

- ・何が売れるのか市場の発信が必要(生)
- ・小売の情報が少ない(市)
- ・商品の物語を伝えたい(小)
- ・生産者は、商品の情報(特性等)を発信している、市場が小売に発信していない(生)
- ・生産の情報内容に魅力がない(小)
- ・生産も小売も情報発信が不十分(市)
- ・商品の理屈(説明)だけでは伝わらない。SNSなどでリアルタイムな情報が欲しい(小)

テーマ: 流通

《発言要旨》

- ・市場は物流機能を維持。生産・小売は情報を整理して流してほしい。市場が選択する(小)
- ・生産・市場・小売が一つにならなければ流通は成り立たない。外に向けてどう発信するのか(生)
- ・地方の小売店に物が流れない。岐阜にハブを作ってもらいたい(小)
- ・今は、小ロット多品目、物流機能が無い地域は物が出せない・届かない(生)
- ・お店に品物が揃わない。各地域に流通Cを作って来なかった。問題としなかったことが問題(生)
- ・豊明と岐阜でタッグを組んでは。物流改革が流通を担う(市)



テーマ:販売促進

《発言要旨》

- ・良い物が店に並んでも売れない。チラシによる販売促進よりネット(SNS・HP)の時代(小)
- ・花業界の人は、SNSの情報発信が少ない。今日のバトルはSNSでライブ中継中(生)
- ・生産者も小売店に来て売り方をみてほしい。小売と生産を結びつけるのが市場の役割(小)
- ・業界を変えるのは「若者」「よそ者」「ばか者」(一般)
- ・小売の売り方を「綺麗な」から「身体に良い」に変えたい。室内緑化を進める仲間を増やし、効用を発信(小)
- ・今は、「可愛い物」から「変な物」、インスタ映えが流行っている。インスタ映えする店づくりをすべき(生)
- ・販売促進も簡単でない、小売側も教えてもらいたい。お互いタッグを組んで「暮らし」に提案できないか(小)
- ・生産は小売の情報を掴まなければならない(生)
- ・女性が買い求める商品づくり(女性のときめき)(市)
- ・「五つ星」認定店は、店はお客様目線にたって、スタッフのスキルを上げ、うまく伝えることでお店の価値を上げるもの(小)



テーマ:花のある生活

《発言要旨》

- ・業界関係者が「花のある暮らし」を実践していない。業界一体となって暮らしへの提案が必要(小)
- ・インドアブームはこれから起きてくる(生)
- ・花きを「嗜好品」から「必需品」に変える取り組みを普及したい(屋内緑化)
- ・植物・花が持つ力を業界は知っているのか(生)
- ・花を飾る習慣が必要、野の花の一輪挿しでも良い(生)
- ・業界人も物日に花を贈っていない(市)
- ・消費者は、価値ある物しか買わない、健康!(業)
- ・今の業界は、暮らしへの花の提案ができていない(業)
- ・お客の声を聞いていない(業)
- ・誰に何をどう伝えるのか。異業種とのタッグ。食べ方、レシピを紹介していない。(市)
- ・業界の人は、テレビ等マスメディア以外の情報も取る必要がある。
- ・今の時代、花の魅力の発信は、SNS。消費者の反応がすぐわかる(生)



トークバトル 名場面

バトル



レフリー(佐分利さん)

バトル



日向氏のプロ級のアナウンス



喜怒哀楽



バトラー発言を短く
コメント作成
佐分利さん 感謝!!



決めポーズ



参加者に分かりやすいコ
メントをテロップ



リングに上がった勇者達



長尾安博(兵庫県花卉協会)



谷奥俊男((株)COTOHA)



柏村哲徳(日本植物運輸(株))



清野 仁(北海道植物(株))



登坂初夫(群馬県鉢物研究会)



茂木 敏彦(日本花き生産協会副会長)



吉田 誠(埼玉県花き園芸組合連合会)



山村 祐介



山下直木(安城市温室園芸組合)



田中義一 ((株)FAJ)



寺元勇二((株)東京砧花き園芸市場)



近藤克美(安城市温室園芸組合)



茨城県 生産者



戸崎 明(岐阜花き流通センター専務理事)



小栗明夫(岐阜花き流通センター常務理事)



上田善弘(岐阜県国際園芸アカデミー学長)



増田豊洋((株)JF鶴見花き)



中野俊一(飛騨花もち組合)

- ・この他にも、平田ナーセリー、屋内緑化協議会など20名を超える多くの参戦者がトークバトルを盛り上げていただきました。
本当に感謝申し上げます。！！
- ・色々なルールで不快に思われたバトラーの方々には、ラウンド終了後はノーサイドということでご理解願います。(事務局談)

トークバトルまとめ



《まとめ》

- ・V字回復のためには、若者を育てる、物流改革、異業種をタッグなど「業界一つになること」が重要
- ・世の中の50%の男性は女性に花を贈っている。
- ・世の中そんなに甘くない。
- ・業界の内側を固めて、外で取り組むための一歩が必要
- ・各々の力(ちから)で勝ち取ることを皆で誓おう。



閉会のことば



実行委員会副会長 後藤孝彦
(全農岐阜県本部 園芸部長)



交流会

歓迎アトラクション

《富有樂猩》

- ・2001年12月に瑞穂市の有志で結成した「よさこい踊り」のチーム
- ・瑞穂市発祥“富有柿”をチームカラーに小学生から大人までのファミリーチーム
- ・当日の演目は、清流をテーマにした演目など2つを披露



主催者あいさつ

実行委員会会長 加藤孝義
(日本花き生産協会副会長・鉢物部会長)



主催者団体あいさつ



岐阜県園芸特産振興会会長
足立能夫 (全農岐阜県本部会長)

来賓あいさつ



(株)FAJ代表取締役社長
藤澤俊三 氏



(株)JF兵庫県生花
代表取締役社長 東 信幸 氏

乾杯の発声



豊明花き(株)代表取締役社長
福永哲也 氏



花もち紹介

飛騨花もち組合代表
中野俊一 氏



知事歓迎あいさつ



岐阜県知事 古田 肇 氏

歓 談



Menu



ミナモダンス

チーム清流ミナモ



トークバトル勇者 紹介



協賛企業(ラウンドガール)



《協賛企業》

- ・株式会社エノモト農材
- ・揖斐川工業株式会社
- ・株式会社マルキ化成工業所

トークバトル功労者紹介(レフリー)

(公財)笹川平和財団安全保障事業グループ
グループ長 佐分利応貴 氏



各種展示



《展示内容》

- ・花き県育成オリジナル品種(県農業技術センター)
- ・世界農業遺産「長良川の鮎」(県里川振興課)
- ・花き就農応援隊(県農業経営課・農産園芸課)
- ・ぎふフラワーフェスティバル(県農産園芸課)
- ・関ヶ原古戦場(観光企画課)
- ・かかみがはら航空宇宙博物館(航空宇宙産業課)



産地視察

Aコース

- ・フローラナナミ(岐阜市): カランコエ
- ・(有)サンコフ(本巣市):
ベコニア・観葉植物・セントポーリア他



Bコース

- ・(有)フローラシマベ(岐阜市): ベコニア
- ・(農)ロイヤルグリーン(本巣市):
セントポーリア・カランコエ・ポインセチア他



花フェスタ記念公園 (ぎふフラワーフェスティバル2017)



花いけバトルin花フェスタ

- 《主な催事》 とき: 10月7日(土)
- 【プリンセスホール雅】
 - ・ミナモとキッズダンス
 - ・花いけバトルin花フェスタ
 - ・キッズダンスステージ
 - 【プリンセスホール雅周辺】
 - ・花飾り体験教室
 - ・県産農産物・特産物販売
 - 【花のミュージアム】
 - ・第37回岐阜県花き品評会
 - ・(一社)寄せ植え華道協会作品展示
 - ・岐阜県華道連盟作品展示
 - ・フラワーディスプレイ 他

生産VS流通

叫ぶ超御免のデパート

自分の思い分ぶつ

敬語禁止の本番合

5つのテーマを徹底考

どうする? 3x3 花き業界!!

「決戦の地」岐阜でズバリ解決

第28回全国基礎物研究大会に出

[illegible]

なる「第28回全国国定文書館研究員大会」
 内のメインイベントとして開催された。全
 国のメイキング・イベントは、大分県庁の
 知事兼義経市長の発案で実現。小高は「
 口説き出しやうでも何となく愛嬌らん。腹を参
 りて本音がよく分かるし、切き業の仲間
 にはない」と、敬語は一切消し、愛嬌
 は相手の名前や年齢が分かる間柄のもの
 をめるとして、女性を切られたことも
 ないという。これらは記事も雑誌でも交
 信し、好評。

朝顔を眺め、一瞬の沈黙の後には黙り解
したテーマ曲についで、6名の演奏者が
次々に入場。リグナムで国産楽器を用い
た音階を奏したのちに、5つのテーマ
「魂花」「ものづくし」「流過」「定見」「
花のある生活」が発表された。選手は
1曲の発表につき1分の持ち時間を使っ
て演奏する一方で、自分の主張を二
度も多くくりこみ、言い過ぎがりの大団
や呼ばんぞのいゝ唄に響いた。

手紙で30000円の商品が送られて
5000円、たぐひがなことがあつた。
親友、傳馬、などかと言ふ、一加強
取んならば、定力のあつた小売店になく
さんで、でも所物や生所者の花箱が入
つてゐた。此處でも、でも情報をつく
れ、一生本が同調、受けのなげが設
受とて、その後の流れは不敵な文
を、明く、根本と最近市場、果て
る。市場には、花箱、たぐひ、たぐひ
さう、それに中華屋、たぐひ、たぐひ
たぐひ、たぐひ、花箱、たぐひ、たぐひ、

と云ふ店にしたいのか、そのためにどんな情願が欲しいのかをはつきりしろ――と一刀両断。すかさず徳本が「小虎は酒賣者に物語を伝えたい、生産者は生産や、所物によつて情願を市場に伝え、市場はそれを開陳にまよつて小虎に伝えるべき」と定例。

[illegible]

と切の込むと自慙
 大抵にげば、合つても、終つてみれば
 はノーサイド、最後は、本音をぶつけ合
 つた者だけに生まれる情もない空気が流
 れた法政の地、岐阜、たまには呼ばれた
 意見もぶつけ合うのがこの大勢ですな

(23)

花寺園芸新聞

興行所
花弁園会新聞社
 カキエンビ
 本社 〒464-0850 名古屋市
 千種区千代田2-16 1階ビル2B
 TEL 052-744-0733
 FAX 052-744-0739
 東京支店 〒103-0027 東京都中央区
 日本橋3-2-14 花丸ビル4階
 in 03-5201-3787 / FAX 0372-
 0371
 ◎ 花弁園会新聞社 2017
 年間購読料 9600円(税別)※
 2年間購読 18000円(税別)※
お申込みは電話かメールで
 kakiege@mnos.ocn.ne.jp
 http://www.kakiege.jp
ニュースをお持ちしています
 メールか 052-744-0733まで

業界回復へ本音バトル

岐阜で全国鮎物研究大会

「花笠養蚕退の危機!! どうする 決戦『バトル』の地『岐阜』で『ズバリ』解決!!」をテーマに、全国の園芸鉢物生産者ら関係者が一堂に会し、第28回全国園芸鉢物研究岐阜大会が10月6・7日に岐阜市の岐阜グランドホテルで開催された。会場には本物のリングが設置され、リング上で生産・流通・販売のパトラーによるトークバトルが繰り広げられた。

主盟は岡大農学部委員 ために真剣に話をしよう
あり、功勞者表彰では、
会合岐阜県園芸生産振興 和本物のリンゲを作りま
す。高島植物園紀要をあ
び岐阜県流通センター 上に上がつて眞
剣に話をする。されどこ
れは時代は変わりました
記念賞が授与された。

第2部、特設リングで
行われたトークバトルに
発言者は一人一十分ま
で敬語禁止、敬称略、
自分に都合の良い言い分

格闘技勝負熱い戦い
生産・流通・販売から発

生産・流通・販売から発言

を主張するところなど、そのルールで、それぞれに本章の発言。

「花菱義典をV字回復」のシナリオは、トルテ橋、ものづくし、販売進、花菱社長、販売から徳本修二氏総合園長尾崎明弘氏オザキワラワパーク社長。場外

を先利利害氏から入るこの発言やヤ

ジは迎え、10人以上の乱人があった。司会進行を、はないバトルの日向雄、郎氏が務め、フエイス・ブクでリアルタイムの配信もされた。

情報が入ってない」と相対で引く。相対で引かぬ！などとも、チャレンスのタネなども、語られた。

バトルや場外からの乱入など入り乱れて、本音での熱気あるトークバ

「賈参人は三言目には何かないかと言う」など、それぞれの言い分でやりとり。

(201

合会館后昇平部（一）社
日本花養生産協会、岐阜
市で構成し、（二）社
不花養生産協会鉢物部
と鉢物部会青年部の共
同で、

入会場の柱
さんが一体は
なっており、俺は
こう思うんだ
と乱入してし
やべつてくだ



日本花養生産協会岐阜市で構成し、（二）社不花養生産協会鉢物部と鉢物部会青年部の共同で、

バトルでは生産者から二生懸命作ったものをセリだと安い。洋文は300円でも、同

買参人が悪い。同じ価格で売っている」など販売サイドに話が振られると「商品は価値に対して値段が付いている。500円のものはその時点で生産者にしっかり伝えて

園芸新園

行委員会会長から主催者
場に対する謝
意と共に今回
あるの花芸業界は何を
している。情報収集を十
て語られた。

行にやってないから物 続いて古田

大会



じもの幸500
円を売ると言
えば、市場は
「注文で売って
残ったものをセ
リで売っても安
に、生産・流通・販売が

500円の価値。3000円の価値があれば3000円で売り切れる」など語られ、セリはいらない人が残ったものを賣うまじい」など生産サイド。小売りサイドから状態になっているとの指

花き

功労者を褒

本物のリングを舞台
言。「注文がこ
しまし」なと発
い、全部死んで
だろ」「高い
安いは関係な
い、そればっ
い、そればっ

「正直、小売りも本当は、何が売れるかわからない。いいは生産者が作ってきたものを何でも構わずお店に入れて、トライをする。もしかしたら



功労者を表彰



加藤孝義実行委員会会長



本物のリングを舞台に、生産・流通・販売がトークバトル

産者から「一生懸命作ったものをセリた」と安いう。注文は3000円でも、同じものを3000円で売ると言えは、市場は「注文で売って残ったものをセリで売ると安い、それはどうだろ」「高い安いは関係ない、全部売ってしま」なを売る。「注文は3000円でも、3000円で買う情報をお小売店にほし。	ハトルは生産者参加が悪い、同じ価格で売っている。」など販売サイドに話が振られると「商品は価値に対して値段が付いている。5000円のものはその時点で5000円の価値。30000円の価値があれば30000円で売り切れる。」などと語られ、セリはいらないものが残ったものを賣う状態になっているとの指摘もあった。
また販売店から「売る自信はある。良いものを作っている。値段は高くても賣う。情報を伝えているのを小売店から、売りたいものを、そう言う情報は小売店にほし。	相互に何を作ったのかかわからないのは困る。小売りの小売りが何があるのかはきりぐえてもらいたい。市場は生産者にしっかり伝えてもらいたい。何を作ったらいいかも含めて、生産者も何を作るのかしっかりと見極めて生産しないとなすまい。」など生産サイド。小売りサイドから「正直、小売りも本当は何が売れるかわからない。いっぱい生産者が作ってきたものを何でも構わずお店に入れたい、トラウマをするかもしれないから売れるかもしれないというチャンスが出てきて、

花き園芸新聞

高品質時代の施肥管理

緩効性肥料
オスモコート
エグザクト
[25kg]

緩効性肥料
マグナムII
速効力 栄養素満入の
[20kg]

培培土
メトロミクス。
たねまき用
[40L]

HYPONEX
株式会社 ハイネックス ジャパン
<http://www.hyponex.co.jp>

花き振興策、熱論バトル

岐阜市 全国の生産者、研究大会



生産、市場、小売りのそれぞれの立ち場から意見をぶつけ合い、氣勢を上げるパネリストたち＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル

第28回全国園芸鉢物研究岐阜大会（岐阜新聞・ぎふチャンなど後援）が6日、岐阜市長良の岐阜グランドホテルで始まった。会場にはリングが出現。生産、市場、小売りそれぞれ、の立ち場から意見をぶつけ合う異色のパネルディスカッションで、花き業界を盛り上げる方策を話し合った。大会は7日まで。

「生産者、市場関係者、小売業者の代表がリングに上がり、価格などの観点からトークバトルを繰り広げた。」「生産者は商品の特性を伝えている。市場は小売店への情報発信が足りない」など率直な思いを述べ合った。

「岐阜を全国の花き流通の拠点にしよう」との意見もあり、結束を深めた3者はプロレスラーのように手を突き上げ、氣勢を上げた。7日は県内の花き農家を視察する。

（大賀由貴子）

花き業界振興策 業者300人考える 岐阜で全国大会



全国園芸鉢物研究岐阜大会（中日新聞社後援）が6日、岐阜市内のホテルで二日間の日程で始まった。写真。県内では十年ぶりの大会で、全国の生産者や小売り、流通業者ら約三百人が振興策を考え、花き業者らでつくる実行委主催。委員長でサポテン生産者の加藤孝義さん（瑞穂市）ら六人が「花き業界をV字回復させるシナリオは？」を議題に討論した。生産、流通、販売

の業者が「消費者のニーズを考えるべきだ」「販売現場から売れる商品の情報を生産者に伝えて」などと発言していた。

七日は岐阜市内の生産現場や可児市の花フエスタ記念公園で始まる「ぎふフラワーフェスティバル」を視察する。

（近藤統義）



第28回全国園芸鉢物研究岐阜大会 記録誌

発 刊: 平成29年11月
 発 行: 第28回全国園芸鉢物研究岐阜大会実行委員会
 制作・編集: 同上

[上記の写真: 上段=研究大会・下段: トークバトル]